

食品安全関係情報(12月14日～1月9日 収集分※)について

「食品安全関係情報」として食品安全委員会が収集したハザード毎の地域別情報件数の概要

(集計数は、今回/前回)

12月14日～1月9日 収集件数 (合計129/84件) (前回 11月30日～12月13日)		国際機関 WHO・FAO等 (13/1件)	北米 米国 (16/6件) カナダ (1/1件)		欧州 EU、EFSA (26/23件) 各国 (20/16件)		大洋州 FSANZ等 (5/8件)	アジア 中国 (17/9件) 各国 (5/3件)		中南米等 各国 (0/0件)	その他 報道、論文等も含む (26/17件)
化学物質 (36/35件)	化学物質・汚染物質 (8件)	0	0	0	0	1	0	2	1	0	4
	食品添加物 (3)	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0
	農薬 (21)	0	9	0	9	3	0	0	0	0	0
	動物用医薬品 (1)	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	器具・容器包装 (1)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	その他 (2)	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
微生物・プリオン・自然毒 (61/28件)	細菌 (10件)	0	3	0	2	1	0	0	0	0	4
	ウイルス (27)	7	0	1	0	3	0	5	3	0	8
	原虫・寄生虫 (1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	プリオン (3)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
	植物性自然毒 (2)	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
	カビ毒(マイコトキシン) (1)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	動物性自然毒 (1)	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	その他 (16)	6	0	0	1	3	0	3	0	0	3
新食品等 (12/5件)	新食品 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	GMO (7)	0	0	0	3	3	0	0	0	0	1
	健康食品 (2)	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
	アレルギー (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	クローン (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	放射線照射 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ナノテクノロジー (3)	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肥料・飼料等 (2/2件)	肥料 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	飼料 (2)	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他 (18/13件)	表示 (1件)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	放射性物質 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他 (17)	0	1	0	5	1	3	5	0	0	2
海外の食中毒 (0/1件)	細菌 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ウイルス (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
海外のリコール (0/0件)	化学物質 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	微生物 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	異物混入等 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	表示違反 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※収集期間については、主たる期間をいう。

食品安全関係情報(12月14日～1月9日収集分128件)のうち、主なものの紹介 (詳細及び他の情報については、食品安全総合情報システム(<http://www.fsc.go.jp/fsciis/>)をご覧ください)

【化学物質】

- ・香港食物環境衛生署食物安全センター、「魚スープのリスクと便益」と題する情報を公表
- ・欧州食品安全機関(EFSA)、アセタミプリド及びイミダクロプリドの発達神経毒性の可能性に関する科学的意見書を公表
- ・欧州連合(EU)、食品及びくん液一次産品由来くん液の製造に使用が認可されているくん液一次産品のEUリストを策定
- ・ドイツ連邦リスク評価研究所(BfR)、グリホサートの再評価に関する報告書の最終素案の作成を終了
- ・米国食品医薬品庁(FDA)
 - ・食用動物への抗菌剤使用に関する製薬業界向け最終ガイダンスを発表
 - ・人エトランス脂肪酸のさらなる低減措置に対する意見募集期間を延長
- ・米国環境保護庁(EPA)、1,800種類の化学物質に関する化学物質スクリーニングデータを公表

【微生物・プリオン・自然毒】

- ・欧州疾病予防管理センター(ECDC)
 - ・中国における鳥インフルエンザ A(H7N9)ウイルスの疫学情報を更新
 - ・欧州の2013年次疫学報告書を公表
- ・ドイツ連邦リスク評価研究所(BfR)、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)に関するFAQを更新
- ・米国疾病管理予防センター(CDC)、カシュー・チーズが原因とみられる *Salmonella Stanley* による集団感染情報を発表
- ・世界保健機関(WHO)、中国で発生した鳥インフルエンザ A(H10N8)に係るファクトシートを発表

【新食品等】

- ・欧州食品安全機関(EFSA)
 - ・特定のシリアル一次加工製品におけるデオキシニバレノールの基準値を上げた場合の公衆衛生リスクに関する意見書を公表
 - ・遺伝子組換えダイズ MON87705 の安全性に係る科学的意見書の補足声明書を発表
 - ・食品及び飼料におけるナノテクノロジーのリスク評価に関する EFSA 科学ネットワークの2013年度年報を公表
- ・英国環境・食料・農村地域省(DEFRA)、「農業における好機」と題する同省の Owen Paterson 大臣のスピーチを公表
- ・フランス食品環境労働衛生安全庁(ANSES)、キシメジ科スギヒラタケ属(*Pleurocybella porrigens*)摂食に関する毒性学的リスクについて意見書を公表
- ・米国食品医薬品庁(FDA)、食品防衛規則(案)を発表

【その他】

- ・欧州食品安全機関(EFSA)、データと知見の中核機能を強化する組織再編について公表
- ・スイス連邦食品安全獣医局(BLV)、連邦獣医局(BVET)と食品安全局(Abteilung Lebensmittelsicherheit)が合併してBLVとして発足